



2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

2026 年 3 月期業績予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 14 日に公表いたしました 2026 年 3 月期通期の連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,277	百万円 104	百万円 38	百万円 20	円 銭 0.86
今 回 予 想 (B)	4,690	△124	△121	△134	△5.04
増 減 額 (B-A)	△587	△228	△159	△154	
増 減 率 (%)	△11.1	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2025 年 3 月期)	4,686	126	84	89	3.82

修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間において、プロジェクターの需要低迷に伴う顧客における在庫調整により、フライアイレンズの売上高が計画を下回りました。プロジェクターの需要低迷は続いており、当期のフライアイレンズの販売数量は、当初計画を下回る見込みです。

また、当社製の偏光子は、顧客にてファラデー回転子と組み合わせて光通信に使用されますが、データセンタ投資の活発化により、ファラデー回転子の需給逼迫が生じ、この影響で当社への偏光子の発注が急減いたしました。2025 年 11 月からは、受注、生産数量ともに回復しておりますが、当期の販売数量は、当初計画に届かない見込みです。

また、2025 年 10 月に窒化アルミニウム放熱基板の製品出荷を開始しましたが、その販売数量の立ち上がりは、当初計画より遅れています。

化粧瓶への加飾蒸着と UV 反射鏡は、引き続き好調ですが、フライアイレンズ、偏光子、放熱基板の売上高下振れの影響をカバーするには至らない見込みです。

これらにより、売上高は前回公表時(2025 年 5 月 14 日)の予想を 587 百万円下回る見込みです。修繕費などの費用削減に取り組んでおりますが、営業利益は前回公表時の予想を 228 百万円下回る見込みです。

以上